

地方公共団体との地域連携によるコンサルティング支援

- 地方創生を担う地方公共団体をコンサルティングするため、財務局がもつ**ネットワーク機能**や**財務状況把握スキル**等の**各種スキル**、**支援情報**を**ALL MOFワンチーム**で提供。

概要

- ▶財務局がもつスキルや情報を総合的に提供し、地方公共団体の地方創生施策を支援。

▶財務状況把握スキル [財政部門]

- ①財務状況把握のヒアリング・結果概要(診断表)の交付
- ②(市町村)議会議員への診断表の説明会

<地方公共団体からの主な意見>

- ・アドバイス(類似団体等との比較分析等)が客観的で分かりやすい。
- ・財務局から説明(意見交換)の機会があることで、議員等の理解や納得感が得られやすい。

▶RESAS分析スキル [企画部門]

- ③RESASを活用し、地域の強みや人・お金の流れを見える化
- ※RESAS：地域経済分析システム



▶地方創生事例 [企画部門、国有財産部門]

- ④**財務の健全化**(※1)や**人材強化**(※2)の**事例**を提案

- ※1：企業版ふるさと納税、遊休資産の売却(国有地の管理処分のノウハウ)、Park-PFI など
- ※2：関係人口・副業・兼業人材、地方創生人材支援制度、クラウドソーシング、大学等との連携、熱中小学校など

取組の成果

【コンサルティングの具体的成果(地方創生施策への反映)】

- ▶当局の助言・仲介により**結実した取組**
 - 東京のベンチャーファンド専門家**を招請し、熊本のベンチャー企業数社の**ピッチイベント**を実施
 - 副業人材活用プロジェクト**の実施
 - Park-PFI**の実現
 - 中央省庁へ研修生としての職員派遣**

▶地方公共団体が**検討中の地方創生施策**

- ・企業版ふるさと納税の活用
- ・Park-PFI
- ・地方創生人材支援制度
- ・地方創生交付金を活用したインフラ整備
- ・熱中小学校の招請
- ・和歌山県田辺市をモデルとした町おこし
- ・ワーケーション

【緊急事案への対応】

- ▶緊急財政対策を発表した地方公共団体への支援体制構築

※財政が危機的状況であるとして緊急財政対策を発表した地方公共団体に対して、熊本国税局と連携して対応。

- ・国有財産部門の遊休資産の売却ノウハウの提案
- ・税務署の徴収ノウハウの提案 など

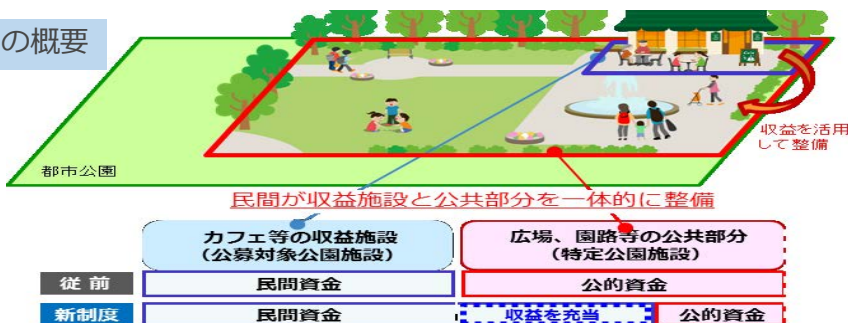
民間活力を活用した都市公園(国有地無償貸付)の整備による地域活性化

- 別府市に無償貸付を行っている別府公園について、Park-PFI制度の承認等を実施し、公園と地域をつなぐ憩いの場づくりに貢献。
- 地方公共団体に対し、地域活性化などを目的として同制度を活用した公園整備を働きかけ。

概要

- 別府市に無償貸付中の別府公園東駐車場について、Park-PFI制度を活用したカフェ等の便益施設の整備に対し、同市からの相談に対応するとともに、同駐車場の利用計画変更承認を実施。
- 都市公園に民間の優良な投資を誘導することで、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便性の向上も可能に。
- 九州財務局では、管内地方公共団体に対して、機会あるごとに同制度の活用を積極的に働きかけ。その際には、**地元企業の事業者としての参加、地域金融機関によるファイナンスなどの可能性も併せて提案。**

Park-PFIの概要



出典：国土交通省「都市公園の質の向上に向けたPark-PFI活用ガイドライン」

取組の成果

- 令和元年12月の店舗オープン後、別府公園東駐車場の利用実績(令和2年1月)は前年同月と比べ**約5倍**に増えており、地域の活性化が期待される。



店内からの眺望



店舗の前には芝生広場を併設

- 当局からの働きかけにより、同制度の活用に向けて具体的な検討を始めた地方公共団体もみられており、今後の広がりも期待される。

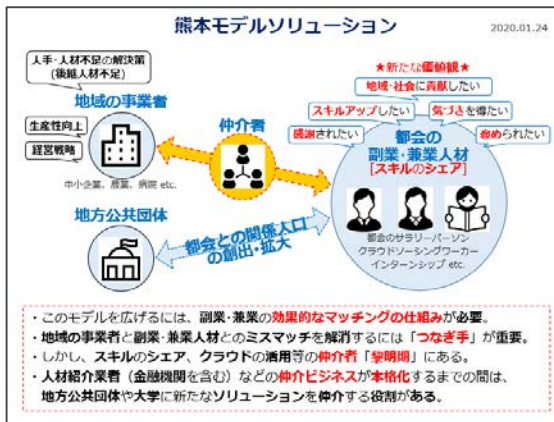
関係人口の創出・拡大にも寄与する新たなソリューション提供支援

- ・ 人手・人材 (後継人材)不足を解消し、関係人口の創出・拡大にも寄与する新たなソリューションとして、都会の副業・兼業人材の活用事例(※)を発信し、その機会を提供するもの。

※政府が閣議決定した「関係人口、副業・兼業」施策として、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「週末の地方での副業・兼業」や「副業・兼業人材の知識・知見を複数の地域で広く共有・活用する」等の重要性が示されており、この主旨のもと、九州財務局では以下の取組を実施。

概要

「副業・兼業人材」活用セミナーの開催(熊本・宮崎)



▶ ソリューション情報の幅広い発信

- ・ 都会の副業・兼業人材の新たな価値観
- ・ 事業者と副業・兼業人材とのミスマッチを解消する「つなぎ手」の重要性

▶ 金融仲介機能の更なる発揮を促す必要性

- ・ 事業性評価に基づく取引先の課題把握及びソリューション提供等

- ▶ 人材を複数の職場で「シェア」する発想のもと、都会のサラリーパーソンを副業人材として活用する「新しいソリューション」を地域に発信。
- ▶ 「都会の若者を副業人材として活用している事業者」、「副業人材として企業を支援しているサラリーパーソン」、「事業者とサラリーパーソンをつなぐ役割に取り組む地方公共団体・金融機関」の3者の実体験を共有するセミナーを実施。

取組の成果

※「副業・兼業人材」活用セミナー(熊本会場)の開催状況はホームページでご覧いただけます。⇒
<http://kyusyu.mof.go.jp/soumu/pagekyusyuhp004000086.html>



セミナーを契機とした主な動き

- 同セミナーの反響は大きく、地元メディアに取り上げられたほか、地方公共団体や企業からの問い合わせや相談を受け、当局が都会の副業人材・仲介者へのつなぎを実施。
- 熊本県八代市は、地元商工会議所・商工会、地域金融機関、副業プラットフォームを運営する事業者と連携した「**副業人材活用プロジェクト**」を発足。
- 地元老舗割烹や海外展開を図る事業者をはじめとする**多種多様の地域企業が、副業プラットフォームを利用した求人**に動いており、**多数の応募**があるなど、**副業人材活用の動きは拡がりつつある**。
- 他にも地方公共団体や金融機関が、人手・人材不足の解消や関係人口の創出・拡大のために、都会の副業・兼業人材の活用を促進する動きが広がっている。